

大島商船高等専門学校紀要論文原稿の作成要領

制 定 平成5年6月1日

第1 目的

この要項は、大島商船高等専門学校紀要の編集及び発行に関する手続要項第7の規定に基づき、論文原稿の作成に関して必要な事項を定めることを目的とする。

第2 原稿

原稿は、A4判縦置き横書きとし、本文及び参考文献・注記は2段組、その他の部分は1段組とする。

また、文体は和文又は英文とする。和文については様式1、英文については様式2を参照のこと。和文による論文の場合は、原則として常体を用い、簡潔に表現する。なお、特段の必要性がなければ「常用漢字表(平成22年内閣告示第2号)」を用い、仮名は「現代仮名遣い(昭和61年内閣告示第1号)」とする。英文による論文の場合は、なるべくネイティブチェック(英語教員でも可)等の確認を行うこととする。

第3 活字体

活字体は、和文についてはMS明朝、英数字についてはTimes New Romanを標準字体とする。ただし、題目、キーワード、章・節・項目・参考文献・注記の見出し及び図表の番号部分はMSゴシックとする。

第4 題目及び執筆者名

題目及び執筆者名は、次のとおりとする。

(1) 題目

題目の活字は16ポイントのMSゴシックとし、位置は中央とする。題目の下を10ポイントで1行あける。題目は原則として1行とし、最大2行までとする。

(2) 執筆者名

執筆者名の活字は12ポイントとし、位置は中央とする。執筆者名の下を10ポイントで1行あける。連名の場合は執筆者名の間をコンマで区切って横に並べ、上付文字「*1, *2, ……」で所属番号を示す(この*を付した上付文字は脚注に記載する所属との対応を示すためのものである)。1行におさまらない場合は2行以上にわたってもよい。なお、執筆者を連名とする場合は、論文執筆への関与の程度などを考慮し、適切な連名者数とすること。

(3) 和文原稿の場合

英文概要の前に英文題目を16ポイントで、また、英字綴りの執筆者名を12ポイントで中央に記載する。英文題目の下及び英字執筆者名の下は10ポイントで1行ずつあける。連名者が2名の場合は執筆者名の間を「and」で区切って横に並べる。3名以上の執筆者名の場合は最後の区切りを「and」とし、それ以外はコンマで区切って横に並べる。1行におさまらない場合は2行以上にわたってもよい。肩書きは入れない。

氏名の英文表記は、執筆者の表記を尊重する。ただし、姓はすべて大文字、名は最初の1字のみ大文字とすることを標準とする。姓と名の順は問わないが、連名の場合は、1論文で統一する。

例1：Hanako TANAKA and Jirou HAYASHI

例2：YAMADA Tarou, KOBAYASHI Hiroshi and TANAKA Jiroh

(4) 英文原稿の場合

題目・執筆者名は英文のみとし、和文題目・和文執筆者名は記載しない。なお、英数字はすべて半角とする。

第5 執筆者の所属

第1ページ下部に全ての執筆者の所属名（英文原稿の場合は英文にて）を9ポイントの活字で、脚注として記す。

例：（執筆者欄）

AAAA^{*1}, BBBB^{*2}, CCCC^{*2}, DDDD^{*1}, EEEE^{*3}

（脚注欄）

*1 ○○学科 *2 ○○工業高等専門学校 *3 ○○大学

第6 英文概要

英文概要を、300語以内で記載する。横1段組み、1行を100字以内とし、活字は10ポイントとする。なお、英数字はすべて半角とする。

第7 キーワード

英文概要の下に10ポイントで1行あけ、英単語によるキーワードを2行以内で記載する。キーワードは、10ポイントのイタリック体で記入し、太字で「Keywords:」と見出しをつける。

例：Keywords: motor, control, power electronics

第8 節・項目の見出し

見出しは、10ポイントのMSゴシックとする。見出し番号初字は1字目とし、数字間をピリオドで区切る。数字は全角の算用数字とする。見出し番号の後に空白1文字を入れ見出し文を続ける。

第9 本文

本文の構成は、研究の目的・独創性（従来研究との比較を含む）・有用性及び論文の構成等を述べる「まえがき」、研究の具体的内容を述べる「本論」、及び得られた結果・残された問題点等を述べる「あとがき」とする。「本論」部分は内容に応じて節に分け、必要があれば項目をたてる。

(1) 和文

横2段組で、23字×47行×2段=2,162字を1ページとする。ただし、第1ページ並びに章、節及び項目の見出しがあるページはこれより少なくなる。活字は10ポイン

トとし、改行部の初字は2字目とする。

(2) 英文

横2段組で、55字×47行×2段=5,170字を1ページとする。ただし、第1ページ並びに章、節及び項目の見出しがあるページはこれより少なくなる。活字は10ポイントとし、英文改行部の初字は3字目とする。

第10 図、表、写真、グラフ等

図、表、写真、グラフ等は、次のとおりとする。

- (1) 写真及びグラフは、図として扱う。
- (2) 図及び表には、番号と説明文からなるタイトルを付ける。タイトル番号は10ポイントのMSゴシックで「図1」、「表1」等と表示する。説明文は、10ポイントの標準字体とする。タイトルの位置は、表の場合は上部、図の場合は下部とする。
- (3) 図及び表は、鮮明なものをタイトルとともに本文中に挿入する。
- (4) 図及び表中の文字は、読み取りやすいように十分大きくする。

第11 参考文献

文献を引用する場合は、本文中の該当個所に上付文字「1）、2）、……」で文献番号を示し、引用した文献を原稿の最後にまとめて次のとおりに記載する。

- (1) 9ポイント、MSゴシックで「参考文献」という見出しを付し、上を10ポイントで1行あける。見出し初字は2字目とする。
- (2) 見出しの次の行から、9ポイント標準字体で文献データを次の順で記載する。
 - ① 雑誌の場合は、番号（1）、2）……）、著者名、題目、雑誌名、巻、号、ページ、（発行年）
 - ② 著書の場合は、番号（1）、2）……）、著者名、書名、ページ、発行所、（発行年）
 - ③ インターネットアドレスを記載する場合は、アクセスした日付を付記する。

例：

- 1) 高専太郎：高等専門学校制度の特色と将来性について、〇〇学会誌，Vol. 1，No. 1，pp. 21-34(2009)
- 2) 〇〇学会編：△△ハンドブック，pp. 421-424，出版社名（1983）
- 3) John Doe: The title of a paper, Journal Title, Vol. 01, No. 1, pp. 1422-1423（1965）
- 4) Richard Roe and John Smith: The title of a book, p. 12, The name of the publisher（1984）
- 5) <http://www.xxx.yyy.jp/zzz/.html> (2010.6.15 現在)

第12 注記

注記を付す場合は、本文中の該当箇所に上付文字「注1）、注2）、……」で注記番号を示し、参考文献の後に「注記」と見出しを付して記載する。改行、活字の大きさ及び字体等は参考文献に準ずる。

第 13 表記の統一

和文本文の句読点は、「、」「。」「」に統一する。その他本要項に定めのない表記については、論文内において表記を統一すること。

第 14 その他

この要領に定めるもののほか必要な場合は、委員長が指示する。

付 記

この要領は、平成 5 年 6 月 1 日から施行する。

付 記

この要領は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

付 記

この要領は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

付 記

この要領は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 記

この要領は、平成 19 年 6 月 4 日から施行し、平成 19 年 4 月 1 日から適用する。

付 記

この要領は、平成 24 年 8 月 24 日から施行する。

付 記

この要領は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

付 記

この要領は 令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

付 記

この要領は 令和 4 年 4 月 26 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。